

第10回 病態生化学セミナーのご案内

日時：平成20年5月28日（水曜日）午後6時半～

場所：医学部看護学科棟3階 会議室

演題：糖鎖機能の解明と糖鎖生物学の意義

演者：名古屋大学 大学院医学系研究科

古川 鋼一 教授

近年の糖鎖合成系遺伝子のクローニングの進展により、細胞に発現するタンパク質や脂質に発現する糖鎖の役割が飛躍的に解明されてきた。実際、培養細胞レベルでの糖鎖リモデリングやマウスを中心とした個体レベルの糖鎖改変が可能となり、糖鎖の欠損や過剰発現に基づく細胞異常や動物の異常表現型を通じた糖鎖機能の理解が格段に進歩した。

今回のセミナーでは、私の研究室で実施してきた、糖脂質糖鎖の機能解析の結果を中心に、癌および神経系における糖鎖の重要性に関して紹介したい。とくに細胞膜に発現する糖脂質糖鎖の脂質ラフトにおける役割について報告する。合わせて、この数年間に日本で展開された糖鎖生物学の進歩の内容についても、代表的な例を挙げて報告し、皆さんと討論したい。【古川 鋼一】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(3)、
博士課程選択科目：細胞生物学I(6)、分子機能学I(39)、細胞内情報制御学I(43)、
分子病態学I(60)、発生生物学I(15)、発癌I(22)、腫瘍生物学I(24)、II(25)、III(26)、
臨床腫瘍学I(28)、II(29)、III(30)、IV(31)、V(32)、VI(33)、VII(34)、VIII(35)、薬物動
態学I(70)、腫瘍免疫学I(79)、理工医学のための生物材料学(101)、
医科学専攻(修士課程)選択科目：腫瘍の発生・増殖とその制御
を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。